



<p>2011.08.20下矢作の水田に除塩のために播いた向日葵が満開です。</p>	<p>2011.04.10瓦礫の間に咲いた可憐な雪融(ゆきげ)ゆりに春を感じました</p>	<p>2011.10.09津波に遭いながらも黒崎温泉下に咲いた浜菊美智子様が大槌町から持ち帰り、皇居にも咲き、昨年のお智子様の誕生日の画像にも掲載されました</p>	<p>2011.10.09アメリカから来たボランティアの二人、総勢15人くらいです。</p>	<p>2011.05.20下矢作コミセンで盛岡と東京の歯科医師(歯科医師4人)の協力をいただきボランティアで被災地歯科検診を実施(このあと6、7月にも矢作・横田で実施)</p>	
<p>2011.08.20ついでに私も一枚</p>	<p>2011.07.24希望の松(発災以来多くの人々の明日への希望を繋いできましたが、残念ながら塩害に負けてしまいました)</p>	<p>2012.01.10三陸鉄道南リアス線三陸駅の時計、地震発生時の14時46分ごろに停止、この時間で停止している時計は稀。</p>	<p>2011.04.10自宅周辺には瓦礫が散乱、被災当初は玄関脇に200mほど離れた家の2階部分が寄りかかっていました。</p>	<p>2011.08.02大槌町内に掲出されている感謝の横断幕(被災地にはこのような掲出が沢山あります。)</p>	<p>2011.09.29自宅解体着手の瞬間、この後1階基礎部分の解体が難行し10月下旬に更地となりました</p>
<p>2011.06.25広田町の慈恩寺避難所で岩手県歯科医師会からの支援物資(お菓子類)を子供たちに配布</p>	<p>2011.08.21気仙町に山田洋次監督から幸せの黄色いハンカチが送られました。右側は被災直後に地元の方が建てた黄色いハンカチです。</p>	<p>2011.12.31釜石駅前設置の釜石復興の鐘で祈ります。</p>	<p>2011.06.04アジアシンフォニーの船首部分(そばを通る車と比較すると)10月20日に空を飛んで海に</p>	<p>2011.12.10に1.17神戸から3.11東日本へ「1.17希望の灯り」が分灯され、小友町の気仙大工左官伝承館に設置されました。希望の松に代わって、被災者の新たな拠り所となりました。「希望の灯り」は1995.1.17阪神淡路大震災の際に、47都道府県から種火を集めて点灯されたものです</p>	